



八鹿青溪



貫徹 慎独 創造

養父市立八鹿青溪中学校 校報
(令和6年10月21日) 第20号



八鹿青溪中 HP

学校教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」

やぶ・ふるさとキャリア教育～余根田直樹氏、美術出前授業～

10月15日(火)、“やぶ・ふるさとキャリア教育”(養父市教育委員会)の一環として、地元八鹿町国木ご出身のデザイナー・余根田直樹さんをお招きした美術出前授業を、3年生を対象にして実施しました。余根田さんは旧八鹿町立八鹿中学校ご出身で、現在は、京都府京丹後市在住。実は中学2年生



時には岩浅学級(2年2組)の一員であり、当時のクラス写真をテレビ画面に映して思い出話を披露してくれました。出前授業では、現在就いているデザイナーという仕事について詳しく説明があり、同時にご自身の数々の絵画作品を紹介してくださいました。生徒は余根田さんの指導を受け、ひとつひとつ丁寧に絵を描いていました。分からないことにも優しく教えてくださり、生徒にとってたいへん有意義な時間となりました。

YABU スクールチャレンジ事業～道徳教育先進校視察～

10月16日(水)、“YABU スクールチャレンジ事業”(養父市教育委員会)の一環として、本校の川原千緒里教諭が道徳教育先進校視察に出かけました。行き先は滋賀県草津市立新堂中学校で、道徳科の授業を参観させていただき(※新堂中学校 HP でも紹介)、その後は校長先生やご担当の先生よりこれまでの取組についてご説明をいただきました。八鹿青溪中学校では、昨年度より“「道徳科の指導力向上」～自らの考えを表現する生徒の育成をめざして～”をテーマに研究に取り組んでおり、9月10日(火)には、福島由布教諭が大阪府忠岡町立忠岡中学校へ先進校視察に出かけました。また、6月12



日(水)には井上博人教諭が研究授業を行い、来たる11月13日(水)には細見裕平教諭が研究授業を行う予定になっています。このように、職員一丸となって八鹿青溪中学校の道徳教育を一步一步前進させていきます。

八鹿青溪マラソン大会

10月16日(水)、八鹿青溪マラソン大会を開催しました。この大会は、①貫徹の精神を意識し、自己の体力の向上と最後まで走り切る精神力を培う②クラスの連帯感を深め、生徒同士が相互に励まし合える場をつくり、主体的に学ぼうとする力を育む、等の目的で開催し、男子は4km、女子は3kmという距離を、多くの生徒がしっかりと走り切ることができました。

閉会式では校長より「体育祭の徒競走では誰の力を借りることなく、自分ひとりの力で責任を持って1本を走り切る姿に感動しましたが、今日の八鹿青溪マラソンも同じです。これからの人生では“誰かの力を借りたいなあ”と思ったとしても、どうしても自分ひとりの力で最後までやり遂げなくてはいけない場面に何度も出会います。そういう意味では、やや大げさかもしれませんが、皆さんは今日の八鹿青溪マラソンを通じて今後の人生のために大きな勉強をしたと言ってもよいでしょう。」と話をしました。



兵庫型学習システム

八鹿青溪中学校では、兵庫県教育委員会の推進する「兵庫型学習システム」を活用した授業を実施しています。「兵庫型学習システム」とは、すべての子ども達の可能性を引き出す指導の一層の充実を図るために行われている事業で、具体的には、生徒の「個別最適な学び」、「協働的な学び」のために、加配教員(定員超の教員)を配置して授業を展開するものです。八鹿青溪中学校では数学と英語で実施しており、同室複数指導(教室に2名以上の教員を配置した授業)を行ったり、3年生数学では、少人数指導(学級を2つに分けた授業)を行ったりしています。そうすることにより、生徒にとって分からない部分について



の質問がしやすくなったり、教師にとっても一人の生徒により濃密な指導ができるようになっていたりという効果が期待できます。校内では「兵庫型学習システム推進委員会」を随時開催し、その成果と課題について共有しています。